



SORAK Development Agency

Registered NGO No:8726

UEB Zone ,Church Road –Mullago;P.o Box, 71883 Clock Tower –Kampala;Tel:+256 703515225

Mubende Office: Lusairia T/C, 16km from Mubende Town along Mubende –Fort portal Road



NPO法人グローバルブリッジネットワーク
Global Bridge Network

プロジェクト名：生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業（ウガンダ共和国）

活動. 生理用布ナプキン作成・サプライチェーンと地域への普及 (活動 3-2 生理用布ナプキン啓発と普及に向けた 13 地域での会合)

活動日時と場所

2018年5月18日～6月30日にかけて、チバリング準郡及びナビンゴラ準郡の13カ所の行政区で生理用布ナプキン啓発に関する会合を開催した。会合の目的は、それぞれのコミュニティの中で布ナプキンに関する情報共有と、ナプキンの購入・使用を促す事であった。（詳細はレポート末尾の「付表1 スケジュール」を参照）

背景

「生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業（ウガンダ共和国）」のプロジェクトでは、中央ウガンダのムベンデ県、チバリング準郡とナビンゴラ準郡の聖ジョセフ・チバリング初等学校、ルワウナ初等学校、プレシャス・チャイルド・ラーニング・センター(PCLC)を対象校としている。SORAKは、プロジェクトの持続可能性を確保するため、Global Bridge Network (GBN)とLUSH Japanからの支援を受けて、SORAKの事務所にて布ナプキンの生産体制を立ち上げた。

2018年3月、SORAKはプロジェクトの対象校以外の学校やそのコミュニティへの販売の開始に向けて布ナプキンの生産を始めた。SORAKが関わるコミュニティでは、ナプキンを毎月購入できる経済力のある住民は少なく、女性・女子生徒は古着などの布切れやトイレットペーパー等、一日継続使用できない代替品を使わざるを得ない状況にいる。また月経中の女子生徒は通学用に使えるナプキンがないため、学校に行けなくなっている。このような状況の中、まだほとんどの住民が布ナプキンについての認識がない。よってSORAKは、学校へ通う女子生徒、その両親とコミュニティ全体に向けて、布ナプキンについて知ってもらう必要があると考えた。今回は行政区をベースとした生理用布ナプキン啓発に関する会合を、チバリング準郡とナビンゴラ準郡の13カ所の行政区で開催した。

活動の目的

会合の目的は、SORAKが作成した布ナプキンの使用を普及させる事。また、女子生徒の両親・保護者に対しては、女子生徒が月経を理由に学校を欠席する事が減るように、月経時の衛生管理を指導する保護者としての役割を認識してもらう事である。

参加者数

今回の生理用布ナプキン啓発会合には女性784名と男性84名が参加した。様々な村から女性、地域の指導者（村の代表者）や宗教的指導者が集まった。（末尾の「付表2 参加者」を参照）

会合で話し合われたトピック

会合では、テーマに関連する様々な問題について議論された。特に男性の参加者は、本会合は時宜にかなった企画であり、また考えを改める機会となったと告白した。会合では、次のような議題について協議した。

- 月経時の適切な衛生管理の概要
- 女子生徒へ衛生管理について教育を行う親の役割
- SORAK 布ナプキンの紹介
- 布ナプキンを使う利点
- 布ナプキンの使用方法

活動・議論の内容、ファシリテーター（実施者）

1. 月経時の適切な衛生管理の概要

SORAK プログラムスタッフのナキルータ・ハディジャ（Ms. Nnakiruuta Hadijah）が月経時の適切な衛生管理に関して説明した。彼女は、月経時に個々の衛生管理を徹底する事が非常に重要であると述べた。衛生管理に関するポイントとして、一日二回以上は体を洗浄する事や、生理用品をしっかりと乾かして使う事、また不衛生な生理用品を使用することや、生理痛を和らげるために運動や砂糖の入っていない白湯を飲む等の自然療法などは危険であると挙げた。

SORAK の代表からは、学校へ通学する女子生徒へ月経時の衛生管理を指導する役割を親・保護者が担っている事、またその責任について説明をした。代表はスピーチの中で、親の怠慢によって女子生徒が学校で使える生理用品を与えられていない状況を懸念していると話した。もし親・保護者が娘に生理用品を与えなければ、女子生徒はたった一日の使用ももたない古着などの布切れを使う事になると強調した。また、生理用品が与えられなければ、女子生徒は毎月3-4日、毎学期9-12日、毎年27-36日も学校を欠席する事になり、これは彼女たちの学力に影響する。このような事態を避けるため、親・保護者や女子生徒の事を考えている住民全員に、生理用品を女子に提供して衛生管理に関する教育指導を行う事で、衛生管理の普及における自分たちの役割を果たすように強調した。

2. SORAK 布ナプキンの紹介

SORAK 布ナプキン作成ボランティアのバビレ・ナミヤロ・マリア・ゴレッティ（Ms. Babirye Namyalo Maria Gorretti）が、SORAK で作られた布ナプキンを啓発ミーティングに参加したコミュニティの人々に紹介した。ナプキンに使われている各資材とその役割について説明した。今回紹介した資材は、ストレッチャー・ソフトエンド・ポリエン・ボタン・脱脂綿/羊毛。ストレッチャーとポリエンは血液が下着に入り込むのを防ぎ、ボタンは下着に留め、脱脂綿/羊毛は血液を吸収し、ソフトエンドは綿が女性の生殖器に入るのを防ぐための層となっている。



3. 布ナプキンを使う利点

SORAK プログラムスタッフのナキルータ・ハディジャ (Ms. Nnakiruuta Hadijah) が、地元で作成された SORAK 布ナプキンを使用する利点について説明した。まず、一つの布ナプキンは12か月間も使えるので、経済的である。また、SORAK 布ナプキンは地元で生産されたものであり、化学薬品を使用していない。布ナプキンの利点を説明すると同時に、彼女は衛生管理の重要性について再度説明し、またコミュニティの住民が SORAK の布ナプキンを受け入れ、使用してくれるようお願いした。

さらに、布ナプキンの実際の使用方法についても説明した。また、SORAK で作成した布ナプキンに関する質疑も受けた。例えば、布ナプキンの作り方を自分たちで学ぶ事はできるか、SORAK の布ナプキンはどこに行けば手に入るのか、ナプキンを作る資材はどこから調達しているのか、等の質問があった。



ナビンゴーラの行政区で、SORAK プログラムスタッフが、SORAK の布ナプキンの使い方を説明



カンワ (Nkandwa) 行政区で SORAK 布ナプキンの利点を説明する SORAK メンバー



ナビンゴーラのルビンビリ (Lubimbiri) 行政区で、SORAK プログラムスタッフが、SORAK の布ナプキンの使い方を説明



カボワ (Kabowa) の女性が SORAK 布ナプキンの使い方の説明を熱心に学んでいる。



SORAK のプログラムマネージャーが布ナプキンの使い方を説明



チバリンガ準群のチバリンガB (KibalingaB) 行政区で、SORAK プログラムマネージャーが下着を使って布ナプキンの着用方法



SORAK 代表がチバリンガ準群のカサナ (Kasana) で集合写真を撮影

会合の成果

- 会合に出席した参加者は、月経時の衛生管理を徹底する事を約束し、また不衛生な生理用品を使う危険性/リスクについて学ぶ事ができた。
- 会合に参加した女子生徒の親は、月経中の娘に生理用品を与える親としての役目と責任を認識した。月経時に子供たちをサポートする事をその場で誓った参加者もいた。
- 15枚の布ナプキンを会合時に販売した。また、会合へ積極的に参加した者には、SORAK から5枚の布ナプキンを寄付した。
- 13人の地域密着型の販売代表が選出された。彼らは布ナプキンが必要な顧客を探し、また布ナプキンの品質の改善点について SORAK へフィードバックする。

参加者からの意見

- ムベンデ県が今年(2018年)7月か8月に開催する展示会への参加し、SORAK の画期的な布ナプキンを展示してほしいとのリクエストがあった。
- 販売し易くなるように、また商品が識別できるように、SORAK とドナーで布ナプキンのパッケージングを考えたほうが良いとの意見があった。
- 可能であれば、女性グループの布ナプキン作成トレーニングの方法を開示してほしい。布ナプキンの生産量を増やして、生理用品が使えない女子生徒が学校に行けなくなってしまう事態を最小限にしたいとのリクエストがあった。

References

付表 1: スケジュール

日程	時間	場所	準郡
2018年3月18日	03:12 pm	キイタ (Kiyita)	ナビンゴーラ準郡
2018年3月25日	02:05 pm	キソンバ (Kisombwa)	チバリングア準郡
2018年4月8日	03:26 pm	ナビンゴーラ (Naingoola)	ナビンゴーラ準郡
2018年4月15日	04:03 pm	チバリングア A (Kibalinga A)	チバリングア準郡
2018年4月22日	02:04 pm	カブブ (Kabubu)	チバリングア準郡
2018年4月29日	03:10 pm	ルビンビリ (Lubimbiri)	ナビンゴーラ準郡
2018年5月13日	02:26 pm	カンワ (Nkandwa)	チバリングア準郡
2018年5月19日	03:02 pm	カバルンギ (Kabalungi)	ナビンゴーラ準郡

2018年5月20日	02:11 pm	チバリンガ B (KibalingaB)	チバリンガ準郡
2018年5月26日	04:10 pm	カサナ (Kasana)	チバリンガ準郡
2018年6月16日	02:02 pm	カフンデジ (Kafundezi)	ナビンゴラ準郡
2018年6月23日	03:15 pm	カボワ (Kabowa)	チバリンガ準郡
2018年6月30日	03:04 pm	テュンガモ (Ntungamo)	チバリンガ準郡

付表 2: 参加者

各行政区の女性・男性の参加者人数

場所	女性	男性
キイタ (Kiyita)	55	08
キソンバ (Kisombwa)	70	10
ナビンゴラ (Nabingoola)	48	05
チバリンガ A (Kibalinga A)	62	06
カブブ (Kabubu)	55	03
ルビンビリ (Lubimbiri)	68	09
カンワ (Nkandwa)	70	02
カブルンギ (Kabalungi)	49	06
チバリンガ B (Kibalinga B)	60	10
カサナ (Kasana)	54	08
カフンデジ (Kafundezi)	71	02
カボワ (Kabowa)	63	08
テュンガモ (Ntungamo)	59	07
Total	784	84